

聖書委員会 2021 年活動報告と 2022 年活動計画

■オンライン聖書講座

- *1986 年に「聖書が好きになる講座」として始まった「聖書講座」は、多くの方々の支えによって 30 年以上も続いてきた。しかし、2000 年の新型コロナウイルス感染症の拡大によって中止を余儀なくされ 3 年目、今年も対面形式の講座の開催は実施できなかった。
- *オンライン聖書講座として、配信形式の講座にして 3 年目となった。
- *今年の聖書講座のテーマを「人はなぜ病み、苦しむのか—聖書からの問い—」とし、聖書のみ言葉から、聖霊の助けのもとで、その大きな問いに迫り、希望の光を見出していくことができればと思って企画した。
- *講座は 12 名の講師(司教・司祭 11 名、奉献生活者の女性 1 名)を講師に、ユーチューブの録画配信で行った。1 か月だった視聴期間を、3 か月に延長したので、受講者の皆さんには大変喜ばれた。
- *最終的な受講者は 276 名(4 名は 1 回のみの受講者)、京都教区内 144 名、教区外 132 名(海外 2 名、11 教区から)であった。
- *今までの講座の CD や DVD の注文があれば作成して販売したり、聖書講座を書籍にした聖書講座シリーズも販売している。
- *来年度の講座も同じくオンライン講座とし、5 月開講予定で 12 回の講座を行うべく、現在準備中。
- *ポスターやちらしを作製するので、小教区でも周知していただき、一人でも多くの方に聖書のみことばが届けられるようご協力いただきたい。

■よくわかる聖書の学び～ヨハネ福音書を読む～

- *対面講座のため休止中。

■構成メンバー

聖書委員会の構成メンバーは、担当司祭 2 名、教区事務局職員 1 名(広報兼任)である。録画などの際には、福音宣教企画室の協力も得ている。

広報委員会 2022 年活動報告と 2023 年活動計画

■ 京都教区時報

*月に1度の教区時報の発行(2022年12月号で541号)

*今年もコロナ禍のため、教区や小教区の行事がなくなり、時報の記事も少なかったが、休むことなく発行できたことは良かったと思う。

*教区時報は、前の月の最終日曜日までに各小教区に届くように編集スケジュールを組んでいる。(諸事情で月初めになることもある。)小教区に届いたら、最終日曜日のミサの時に信徒の皆さまに持ち帰っていただけるように、教会に置いていただけるようお願いしたい。(時報が届いていても、新しい月にならないと出されない小教区があるとのこと)

*教区事務局が京都南部にあるので、なかなか教区全体の情報が把握できていない。そこで、小教区やブロックで広報誌や教会だよりなどを発行しておられたら、1部は教区事務局広報担当者宛に郵送していただきたい。幅広く、教区内のニュースを教区時報に掲載できたらと考えている。

*時報は、教区のホームページにも掲載しているので、紙の時報がなくてもパソコンやスマホがあればいつでも読める。まれに遅れることもあるが、前の月の20日頃にはホームページにアップしているので見ていただきたい。

*ブロックや小教区から教区時報に掲載したい記事があれば、本部事務局までご連絡いただきたい。

*2023年度も同じく毎月発行を続け、教区内の皆さまに「読みたい」思っただけの時報をお届けできるように、工夫していきたい。

■ ホームページ

*昨年度、本部事務局長、広報委員会担当司祭、事務局の広報担当者2名、福音宣教企画室2名のメンバーで、ホームページ委員会(仮称)を立ち上げ、リニューアルに向けての準備を進めてきた。

*4月にリニューアルしたホームページに移行した。ドメインも変更になった。

*リニューアル後も、見たい情報がすぐに見られるように工夫をして手直しを続けている。

*教区時報11月号に、リニューアルの記事を掲載した。

*2023年度もホームページに多くの方が訪問していただけるように、工夫しながら更新を続けていきたい。見てくださる方々の感想もお聞きしたいので、お気づきのことがあれば遠慮なく本部事務局までご意見をお寄せいただきたい。

■ 構成メンバー

広報委員会の構成メンバーは、担当司祭4名、教区事務局職員2名、読み合わせボランティア1名である。

ホームページに関しては、福音宣教企画室2名も加わっている。

2023年度 京都教区正義と平和協議会活動計画

1. 学習会

環境問題のうち公害問題に注目する。水俣病、四日市喘息、イタイイタイ病その他多くの公害が社会の発展や快適な生活実現の過程で発生した。神から被造物の世話を任されたヒトはこの問題にどう取り組めばよいのだろうか。教皇フランシスコの『ラウダート・シ』のメッセージを深めるうえでも、座学の学習会および資料館などへの現地学習を企画する。

2. 戦争と平和写真展

8月5日（土）～6日（日）に例年通り写真展を企画する。シリーズとして展示されているフクシマ問題、沖縄基地問題の展示を通して、日本のエネルギーや安全保障の問題、それを展開していく際の権力による人権侵害や社会構造の問題に触れ、イエス・キリストによって示された福音をどのように伝えていくかを模索する。

3. 機関誌発行

機関誌「てくてく」を発行する。企画の紹介・報告、特に学習会記録掲載などにより、多くの人々に社会問題への関心を深めてもらい、活動への参加を促進する。

他の活動団体との連携を図り、社会に福音の光をことばと行いを通して届けていくことにつとめる。

2022年度 福音宣教企画室活動報告

■ 2021-2023（2024） シノドス担当部会

質問回答まとめ作業 担当：京都教区内外国語、修道会、教育施設

■ 2月 病者高齢者奉仕講座（ZOOM開催）

「コロナ禍における新しいつながりを求めて」

講師：中瀬真弓氏（京都いのちの電話）

■ 4月 新信者の集い

動画「ようこそカトリック教会へ、ようこそ京都教区へ」「海を渡った都の聖母」
作成、配信

■ 5月 小教区評議会役員研修会・交流会（ZOOM開催）

サイクルテーマ②「教会共同体づくり」～シノドス・ともに歩む教会共同体づくり

■ 10月 小教区評議会役員交流会（ZOOM開催）

サイクルテーマ 研修会と同じ

■ 10月 信徒カテキスタ養成講座開始（ZOOM開催）

期間：2022年10月～2024年1月 【全18回】

昼コース／夜コース

■ その他（動画配信など）

- ・「すべてのいのちを守るための月間」（9/1～10/4）動画作成配信
- ・他委員会への協力（動画作成、オンライン講座・研修会開催）
- ・司祭司牧者集会、女子奉献生活者の会、開催協力

以上

2023年 福音宣教企画室活動予定

- 新信者の集い 動画配信予定

- 小教区評議会役員研修会・交流会（ZOOM開催）
サイクルテーマ③「社会への福音宣教」～滞日外国人から学ぶ～
研修会：6月24日（土）14時
交流会：10月7日（土）14時

- 信徒カテキスタ養成講座（ZOOM開催）
期間：2022年10月～2024年1月【全18回】
昼コース／夜コース

- 「シノドス関連講座」

- 「求道者に同伴する信徒養成講座」修了者フォローアップ講座

以上